

Weekly コラム

平成 28 年 8 月 30 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会)

Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

小さな泡で大きな未来へ

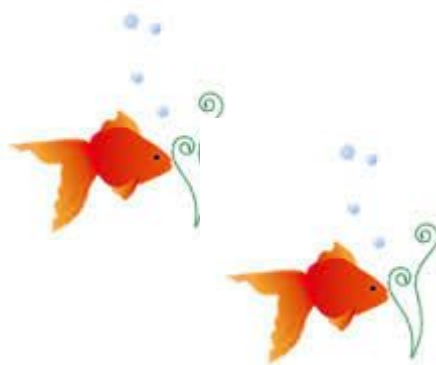
大きな可能性を秘めているウルトラファインバブル・テクノロジー。ウルトラファインバブルとは数千万分の1メートルの極小の気泡のことです。通常の気泡は急速に水中を上昇し、短時間で破裂するのに対し、ウルトラファインバブルでは、気泡体積が微細であるため上昇速度が遅く、長い時間水中に滞在し続けることができ、最大6ヶ月水中で留まることが確認されております。この特性を利用した開発が注目されており、食品をはじめ、化粧品、薬品、医療、半導体や植物育成など、幅広い分野での応用が始まっております。

西日本高速道路のサービスエリアでは、ウルトラファインバブル水でトイレの洗浄を行っています。泡特有の「はじける」という性質を利用して、微小な泡が汚れの付着面の隙間に入り込み、はじけることで汚れがとれやすくなります。他にも、養殖魚を酸素の含んだバブル水で飼育したところ、通常の1.5倍サイズに成長し、成魚に成る期間が短縮されたと実証されたそうです。また、医療の現場では、殺菌力を持つオゾンを使ったバブル水が注目を集めており、感染症の治療に使われております。傷の繁殖した細菌には、塗り薬が細部にまで届きにくいことが治療の壁になっていましたが、オゾン微小な泡にして傷の隅々にまで送り込み、細菌に接触させると、はじけて殺菌できる様になっています。さらに、世界的な脅威となっているエボラウイルスに対する効果も実証されております。

このように、気体の種類を変えることでウルトラファインバブル水の活用は無数の可能性を秘めていると言えます。

現在、このウルトラファインバブル・テクノロジーの分野で、日本が最先端を走っており、その技術を携えて海外展開を考えているのですが、なかなか思うように進んでいないのが現状です。それは、このウルトラファインバブルの市場を日本に独占されることを他国が懸念しているからです。このような課題が山積していますので、なかなかこの市場が大きくなりません。

調査会社のベンチャーラボによりますと、この市場は2030年には12兆6700億円に成長する(2010年は1260億円規模)との試算も出ており、これから拡大していくことは目に見えています。ここは日本政府がトップセールスで世界と交渉し、このウルトラファインバブルを開発した技術者の努力がバブル(水の泡)とならぬように実らせてあげるべきではないでしょうか。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。